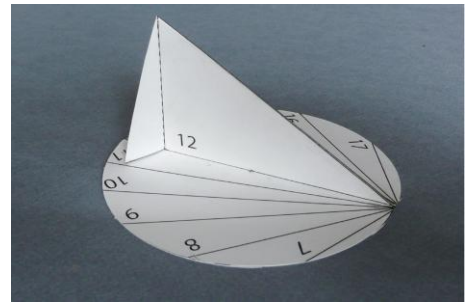
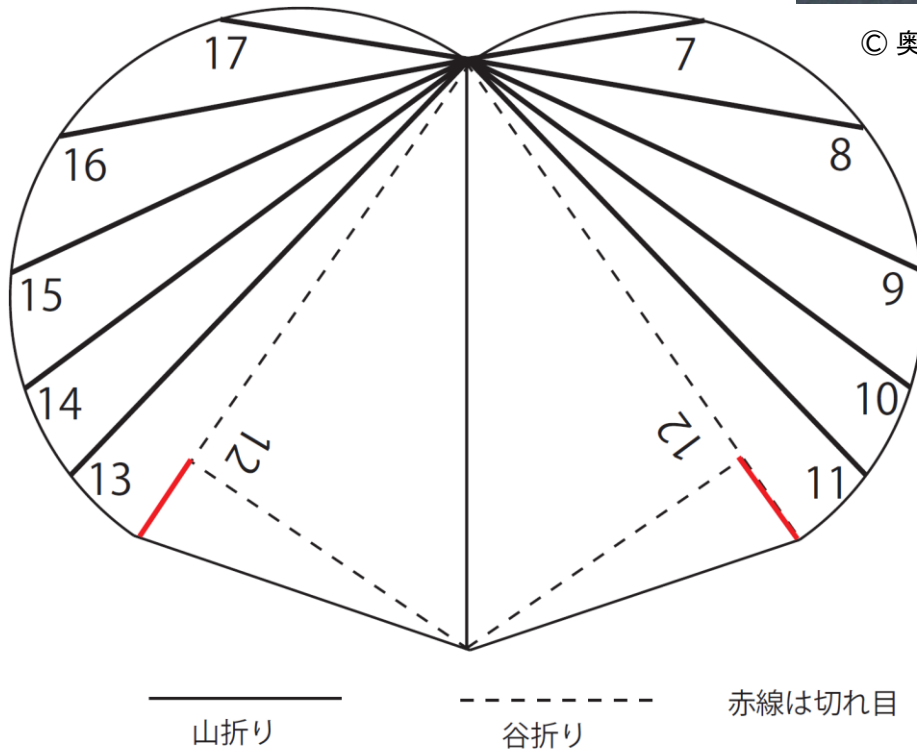


紙細工の日時計〔水平型〕

中央の三角形部分を貼り合わせてノーモンにする。
後ろの部分のひれをつけてノーモンが直角に立つ
ようにする。



© 奥田 治之(日本日時計の会)



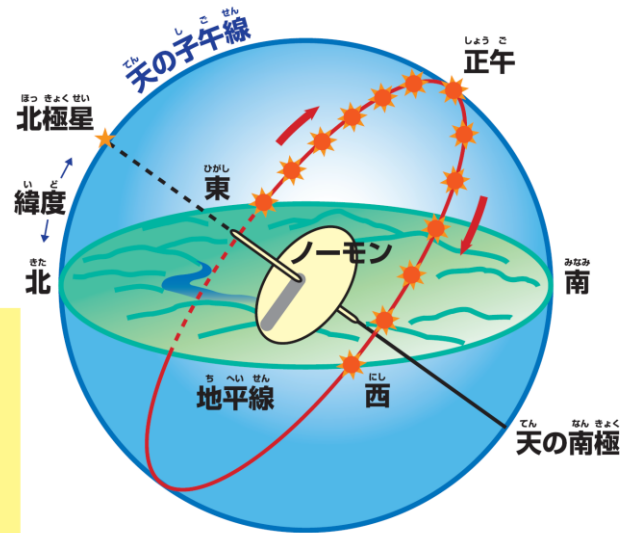
日時計のしくみ

太陽は毎朝東から昇って一定のはやさで空をわたり、夕方西に沈みます。もし空に目印をつけたら太陽の位置で時間がわかるでしょう。空に目印をつけるかわりに太陽の影で時刻をはかるようにしたのが日時計です。1時間で15度の割合で目盛りをつけます。

日時計から正しい時刻を知る方法

- (1) 日時計のノーモン（日かげ棒）の影、または、映った数字から時刻をよみとります。
- (2) 下の表から今日の日付にあたる数字をみつけます。この数字を均時差といいます。単位は分です。
- (3) 日時計の時刻から均時差を足し算します。数字がマイナスのときは引き算します。
- (4) 経度差による時差も補正しましょう。

たとえば…
10月15日で、日時計が13時30分を指している時の時刻は？
下の表の均時差は-14分ですから、
13時30分-14分=13時16分が正しい時刻です。
(1分程度の誤差があります)



【均時差表】

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
1月	+3	+4	+4	+5	+5	+6	+6	+7	+7	+7	+8	+8	+9	+9	+9	+10	+10	+10	+11	+11	+11	+11	+12	+12	+12	+12	+13	+13	+13	+13	+13	
2月	+13	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+14	+13	+13	+13	+13	+13	+13	+13	+13	+12		
3月	+12	+12	+12	+12	+12	+11	+11	+11	+11	+10	+10	+10	+10	+9	+9	+9	+8	+8	+8	+8	+7	+7	+7	+6	+6	+6	+5	+5	+5	+5	+4	
4月	+4	+4	+3	+3	+3	+2	+2	+2	+2	+1	+1	+1	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-3	-3		
5月	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-4	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3		
6月	-2	-2	-2	-2	-2	-1	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	+1	+1	+1	+1	+1	+2	+2	+2	+2	+2	+3	+3	+3	+3	+3	+4	
7月	+4	+4	+4	+4	+5	+5	+5	+5	+5	+5	+5	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+7	+7	+7	+7	+7	+7	+7	+7	+6	
8月	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+6	+5	+5	+5	+5	+5	+5	+4	+4	+4	+4	+4	+3	+3	+3	+3	+2	+2	+2	+2	+1	+1	+1	
9月	0	0	-1	-1	-1	-2	-2	-2	-2	-3	-3	-3	-4	-4	-4	-5	-5	-5	-5	-6	-6	-6	-7	-7	-7	-8	-8	-9	-9	-9	-10	
10月	-10	-11	-11	-11	-11	-12	-12	-12	-13	-13	-13	-13	-14	-14	-14	-14	-15	-15	-15	-15	-15	-15	-15	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	
11月	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-16	-15	-15	-15	-15	-15	-15	-14	-14	-14	-14	-13	-13	-13	-13	-12	-12	-11	
12月	-11	-11	-10	-10	-10	-9	-9	-8	-8	-7	-7	-6	-6	-6	-5	-5	-4	-4	-4	-3	-3	-2	-2	-1	-1	0	0	+1	+1	+2	+2	+3